

2020年度 教育課程編成・実施の方針に照らした教育の取組の適切性に関する検証（CP）

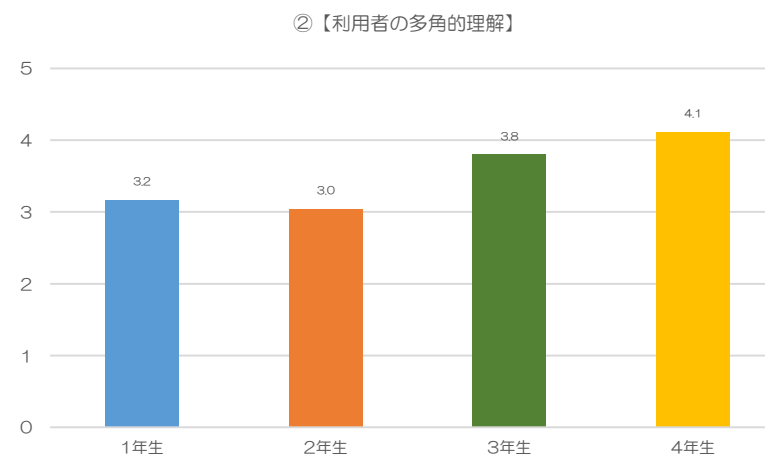
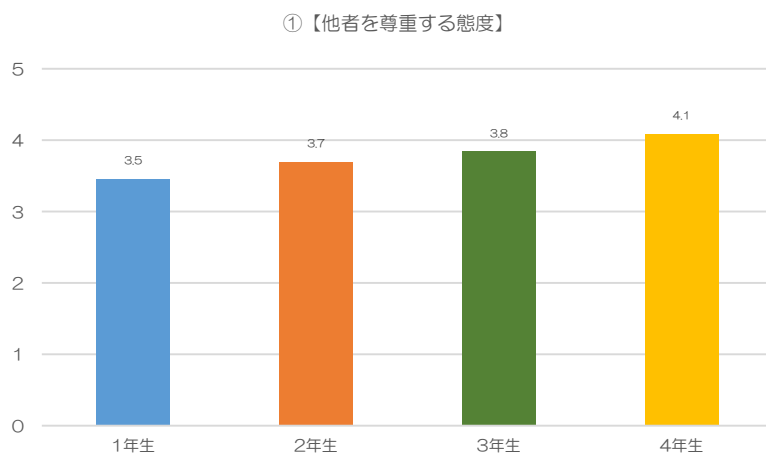
マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学びの姿勢ふり返り（学科／研究科専攻の教育課程編成・実施の方針）」のデータを活用した検証です。各学科・研究科専攻の学位授与の方針については、本学ホームページの「教育方針」（下記の URL）をご覧ください。

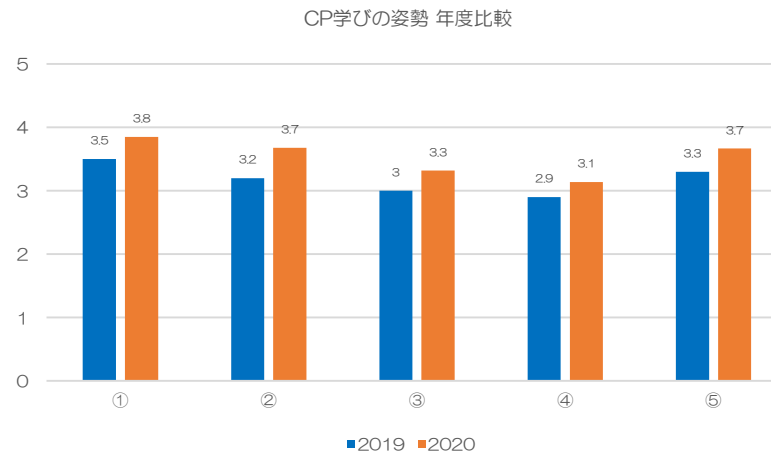
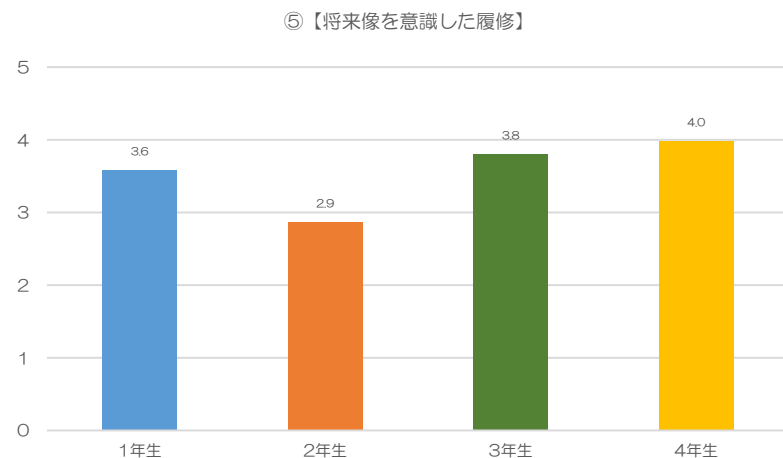
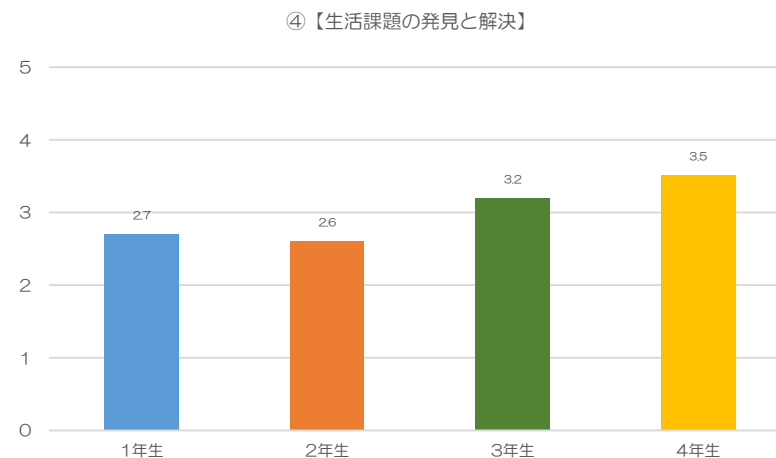
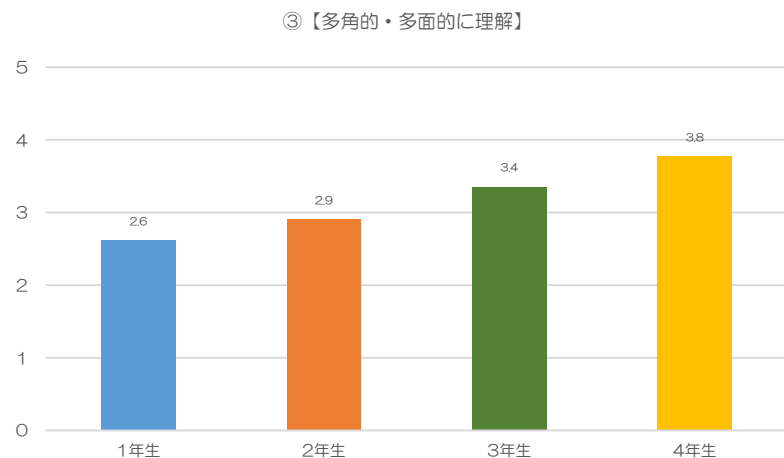
<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/index.html>

学科・研究科専攻名 社会福祉学科

カリキュラム・ポリシーに基づき「学びの姿勢振り返り」として以下に示す 5 項目について 5 段階ルーブリック評価検証を行った。回答者総数 126, 1 年生 24, 2 年生 23, 3 年生 25, 4 年生 54. 昨年度の回答者総数 305 から大幅に減少している。以下に示す結果（図）は、各項目 5 段階（1～5 点）の各学年の平均値及び全学年平均値の前年度比較を示している。

- ① 学修を通して、他者を尊重する態度を身につけようと努めている
- ② 利用者の多角的理解に努められるような学修をしている
- ③ 現代の福祉環境を多角的・多面的に理解できるような学修をしている
- ④ ライフステージに応じた生活課題の発見と解決が主体的にできるようになるための学修をしている
- ⑤ 自分の将来像を意識した履修コースを選択している





1年生～4年生の平均値の比較（学年推移）から学年間での満足度の違いを把握することができる。満足度（点数）が低い項目は教育・学修方法等の改善の参考となる。年次比較は、前年度平均値と比較し低いもしくは変化なしの場合は、課題と言える。

【考察】

2020年度は、コロナ禍においてオンラインを中心とした講義・演習となっていた。そのため、例年リエゾンゼミの時間内で自己評価の入力を行うことが

多かったが、今回は学生への周知，理解が十分に図れなかったと思われる．そのため，回答者が例年よりも大きく減少している．このことが，結果に大きく影響を与えている可能性を考慮する必要がある．

「⑤将来像を意識した履修」については，1年生が3.6であるのに対して，2年生が2.9と評価が低くなっている．これは，本学科では2年次からコース及び専門職課程の選択が行われることが背景として考えられる．学生が希望の進路にあった履修選択ができるようリエゾンゼミや専門職養成クラスにおいて，より丁寧な指導を行っていく必要がある．全般的には，高学年に移行するほど学びの姿勢が高まっていると考えられる．4年間の学習を通じて，これらの学びの姿勢の向上に資する教育体制の充実に引き続き努めていく必要がある．